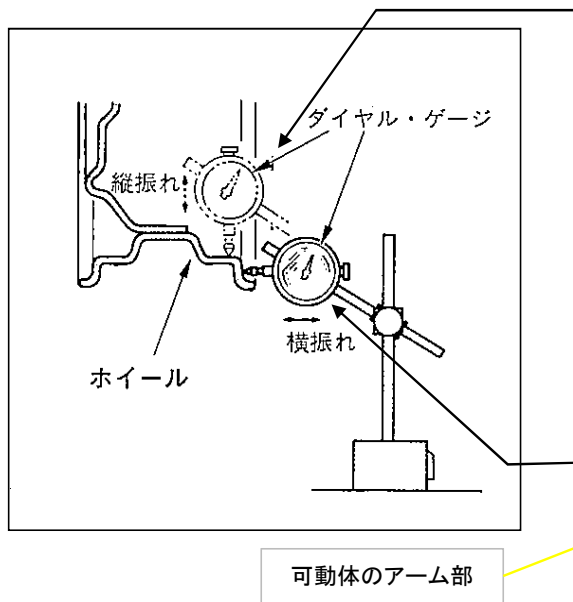


【問題1】 留意事項

留意事項

1. バイスに固定されている部品類は外さないこと。また、分解しないこと。
2. ダイヤル・ゲージ・スタンドは、バイスの可動体のアーム部に取り付けること。
3. (1) 縦振れ量の測定はディスク・ホイール内側のビート・シード部にダイヤル・ゲージの測定子を当てて行うこと。
(2) 横振れ量の測定はディスク・ホイール内側のフランジ部にダイヤル・ゲージの測定子を当てて行うこと。

<図1 ディスク・ホイールの振れ量測定>



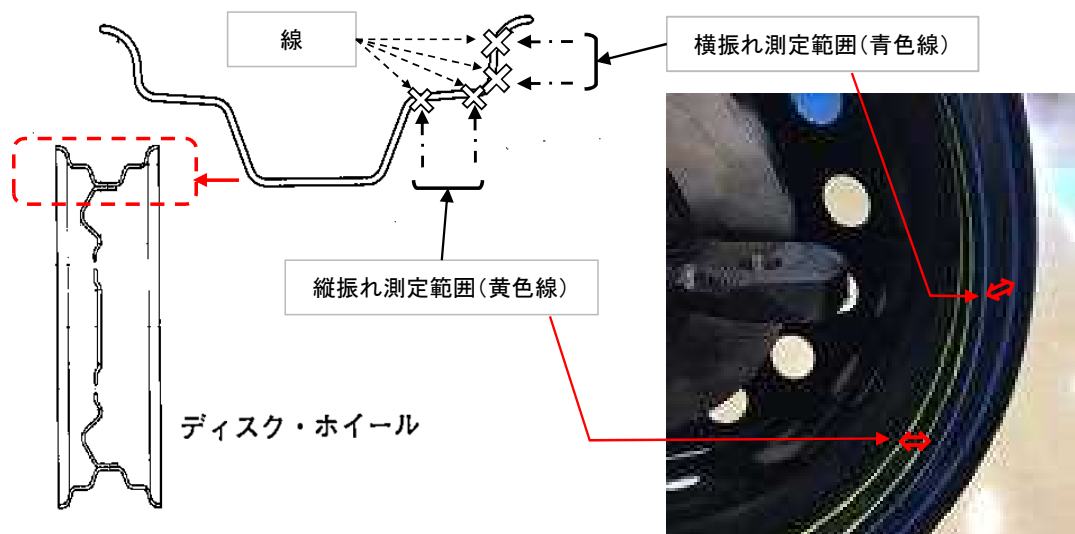
縦振れ量測定



横振れ量測定

- (3) 測定は図2の測定範囲内（ディスク・ホイールの内側に引かれた線（黄色・青色）の内側）で行うこと。

<図2 振れ量測定箇所>



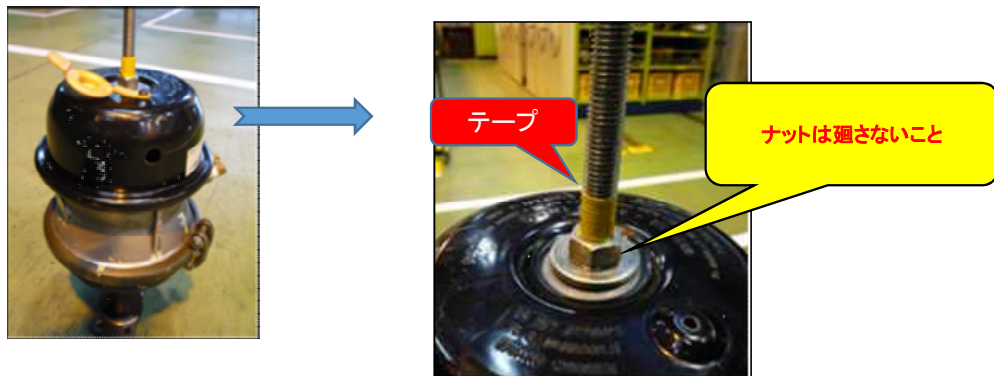
- (4) 振れ量は、ディスク・ホイールを1周以上回転させて測定すること。
- (5) 下記の基準値に照らし、良否判定を行うこと。

縦振れ量：1.0mm以内 横振れ量：1.0mm以内

【問題2】 留意事項

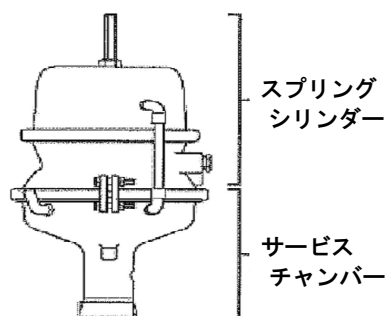
留意事項

1. スプリングシリンダーの黄色テープのナットは絶対に廻さないこと。
※ パーキングブレーキ用の強力なバネを巻き上げているため

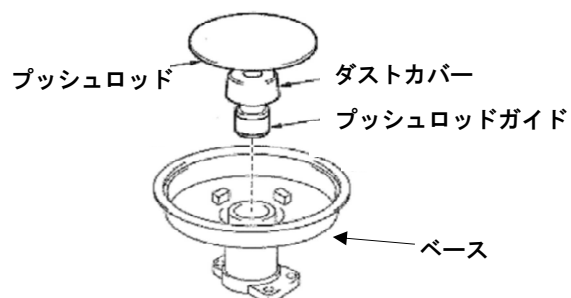


2. クランプリングの締付力等は試験用の設定にしています。
3. 分解及び点検するにあたり、以下の図を参考とすること。

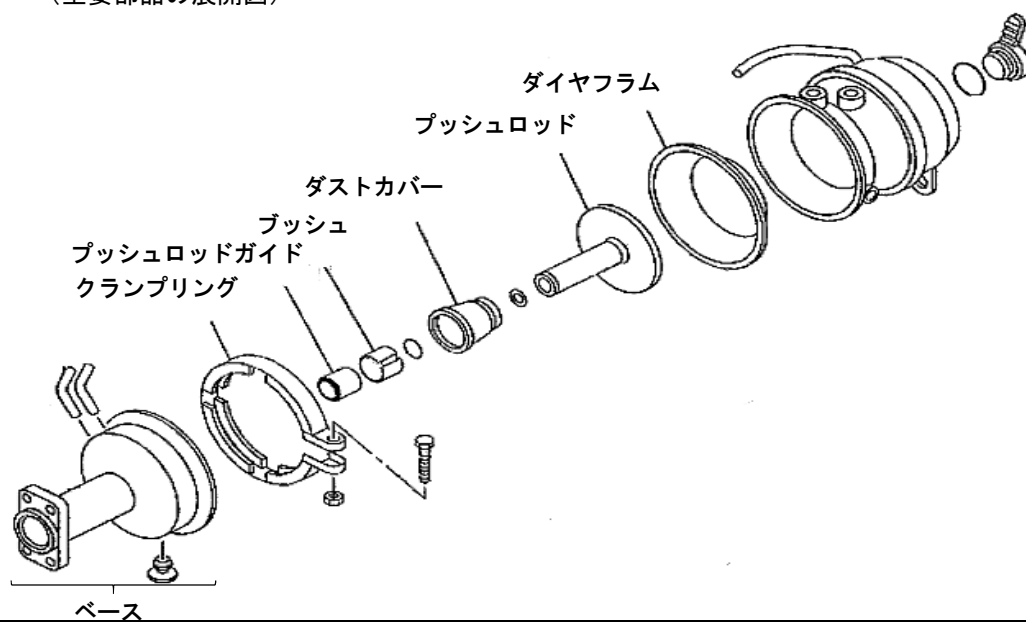
(全体図)



(プッシュロッドの展開図)



(主要部品の展開図)

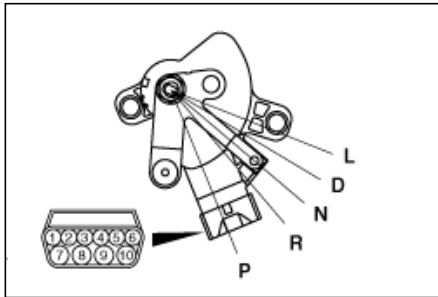


【問題3】 留意事項

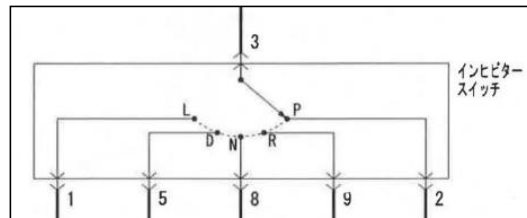
留意事項

1. 原則、問1から問4まで順番に実施・解答すること。
2. 試験車両のエンジンは始動しないこと。
3. イグニション・スイッチは、点検終了後にOFFにしておくこと。
4. 実車の操作は受験者自身で行い、どの点検項目に対して選択肢の何番の点検を実施するか、その都度、採点員に伝えてから点検を行うこと。
(例) 「シフトロック作動点検, ①番を実施します。」等
5. シフト操作, ブレーキ操作, イグニション・キー位置操作をするときは、その操作前に採点員にその旨伝えること。
(例) 「Dレンジへ動かします」「ブレーキ踏みます」「キーをOFFにします」等
6. 試験の都合上、イグニション・キーのプッシュスイッチを押した状態にしてあります。
7. インヒビタ・スイッチの端子配置図, 回路図は以下のとおりです。

(端子配置図)



(回路図)



8. インヒビタ・スイッチの各測定端子間の正常値は以下のとおりである。

測定端子間 (レンジ位置)	正常値
No. 3端子-No. 2端子 (P)	2Ω 以下
No. 3端子-No. 9端子 (R)	2Ω 以下
No. 3端子-No. 8端子 (N)	2Ω 以下
No. 3端子-No. 5端子 (D)	2Ω 以下
No. 3端子-No. 1端子 (L)	2Ω 以下